



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

| | | |
|---------|------|-----------------------|
| 近畿地方整備局 | 配布日時 | 平成29年 6月19日 14時00分 |
| 資料配布 | | |

| | |
|----|--|
| 件名 | <p align="center">プレゼンを希望する民間事業者等 及び傍聴参加者を募集します！</p> <p align="center">インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 『第1回ピッチイベント』開催</p> |
|----|--|

| | |
|----|--|
| 概要 | <p>○「インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム」では、自治体が抱える施設管理の課題（テーマ）に対し、民間事業者などが保有する最新のシーズ技術^{※1}を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図る「ピッチイベント^{※2}」を開催します。</p> <p align="center">※1 メーカー・企業などが提供する技術や商品等 ※2 短い時間で自社の製品やサービスを紹介（プレゼン）するイベント</p> <p>【テーマ（予定）】</p> <p>①橋梁点検の効率化技術 ②道路橋点検における近接目視を支援する点検技術 ③歩道橋・地下道・アンダーパスにおける化粧板等内部の近接目視を支援する点検技術 ④下水道管渠の点検診断の効率化技術 ⑤共同溝下水道専用洞道の近接目視を支援する点検技術</p> <p>○ピッチイベントでプレゼンを希望する民間事業者等及び傍聴参加者を募集します。</p> <p>■日時：平成29年7月28日（金） 14:00～17:30 ■場所：オリックス本町ビル 3階大会議室 （大阪市西区西本町1-4-1）</p> <p>（参考） 「インフラメンテナンス国民会議」とは、社会全体でインフラメンテナンスに取り組む機運を高め、未来世代によりよいインフラを引き継ぐべく、産学官民が有する技術や知恵を総動員するために設立されたプラットフォームです。 （詳細はhttp://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/index.htmlをご参照下さい。）</p> |
|----|--|

| | |
|-----|---|
| 取扱い | — |
|-----|---|

| | |
|------|--------------------|
| 発表場所 | 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ |
|------|--------------------|

| | |
|------|--|
| 問合せ先 | <p>国土交通省 近畿地方整備局</p> <p align="center">企画部 事業調整官</p> <p align="center">企画部 企画課課長補佐</p> <p>TEL：06-6942-1141（内線3116、3156）、06-6942-4090（直通）</p> <p align="right"> <small>ふくおか まさかず 福岡 成和 かわしま たかひろ 川島 隆宏</small> </p> |
|------|--|

**インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム
第1回ピッチイベント（橋梁点検技術・下水道点検技術）の開催
【プレゼンを希望する民間事業者及び傍聴参加者の募集】**

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラムでは、これまでに、公共施設管理する自治体から寄せられたメンテナンスに係る課題解決に向けて3回のフォーラムを開催し、自治体が抱える課題について民間事業者のアイデアやノウハウなどをもとに議論を重ねてきました。

今回、民間事業者などが保有する最新の技術やノウハウを持ち寄り、シーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図るピッチイベントを下記のとおり開催します。

つきましては、ピッチイベントで別紙1に示す5つの課題に対し、保有するシーズ技術をプレゼンテーションしていただく民間事業者等及び傍聴参加者を募集します。

※本ピッチイベントの結果、公共施設管理者のニーズに適応する可能性が高いと認められた技術については、実用化の可能性を検証するフィールド実証実験の実施を想定しています。なお、実証実験に必要な諸費用については、原則、民間事業者などのご負担とします。

記

- ・開催日時 : 平成29年 7月28日（金）
14:00～17:30【橋梁関係】【下水関係】（時間変更の可能性あり）
- ・開催場所 : オリックス本町ビル 3階 大会議室
大阪市西区本町1-4-1
- ・その他 : 1社あたり10分程度のプレゼンテーションを予定
- ・問い合わせ先 : インフラメンテナンス国民会議近畿本部事務局
（一般社団法人 国土政策研究会関西支部）
メールアドレス : kansaishibu@kokuseiken.or.jp

申 込 要 領

【プレゼンを希望する民間事業者参加の申込み】

1. 参加資格

シーズ技術を持つ民間事業者等※

※ インフラメンテナンス国民会議の会員でない民間事業者等は、申込にあわせて会員登録をご検討頂きますよう、よろしくお願いいたします。会員登録については、<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/login/index.html>をご参照下さい。

2. 申込み手続き

申込み方法：提出資料を電子メールにて申込み先に送付

提出資料：①参加申込書（別紙2）

②情報提供を予定しているシーズ技術の概要・コスト・適用条件・アピールポイント・開発状況・その他参考内容（任意様式A4×1枚程度）

③実施事例がある場合、状況写真等（任意様式A4×1～2枚程度）

申込み先：インフラメンテナンス国民会議近畿本部事務局
（一般社団法人 国土政策研究会関西支部）

アドレス：kansaishibu@kokuseiken.or.jp

3. 申込み期限

平成29年7月3日（月）17：00まで

4. 参加者の決定

事務局において申込み事業者の中から書類選考により決定（各テーマ数社）

5. 選考結果の通知

平成29年7月10日（月）（予定）までに申込み事業者の連絡先に通知

6. 参加の申込みに際しては、次頁の留意事項をご確認下さい。

【傍聴参加の申込み】

1. 申込み手続き

定 員：100名（申込み先着順）

申込み方法：提出資料を電子メールにて申込み先に送付

提出資料：ピッチイベント傍聴申込書（別紙3）

申込み先：インフラメンテナンス国民会議近畿本部事務局
（一般社団法人 国土政策研究会関西支部）

アドレス：kansaishibu@kokuseiken.or.jp

2. 申込み期限

平成29年7月3日（月）17：00まで

3. 参加の申込みに際しては、次頁の留意事項をご確認下さい。

留 意 事 項

【知的財産権に関する主な留意事項】

- ピッチイベントは、オープンな場として運営することを基本とし、自らの技術を紹介する場合には、自らの責任においてこれを行うことが求められており、秘匿すべき情報は、その場に持ち込まないことを前提とします。
- 一方、議論する中でさまざまなアイデアが出されることが想定され、これを基に、ある参加者が発明を創出し、特許出願などにより知的財産権が成立する可能性も否定できません。
- アイデアを得て参加者が技術開発を行い、発明に至った場合や申請を行った場合には、技術開発を行った者に知的財産権が認められるものと考えられます。
- また、議論を通じ、技術開発の共同グループが形成される場合には、知的財産の取扱いについて、あらかじめ当事者間で取決めておくことが望ましいです。
- 参加者は、この基本的な考え方に同意して出席する必要があります。

【著作権に関する主な留意事項】

- 参加者は、提出した資料等に係る著作権に関し、事務局等が当該資料を利用（複製や公衆通信などを含みます。）することを許可することとし、また、著作者人格権を行使しないことに同意することとします。
- また、参加者は、提出資料に記載された文書、図表、写真、イラストなどの著作権等に留意し、使用許可が必要な場合は、参加者の責任において必ず許可を得ておくこととします。

※参加者には、「インフラメンテナンス国民会議運営上の知的財産の取扱いに関する事前の取決めとなるガイドライン」を通知いたします。

★テーマ①（橋梁関係）

橋梁点検の効率化技術

【要件：求める技術】

- 橋梁の近接目視点検を支援する技術、または打音検査を支援する技術、または点検者の移動を支援する技術

【条件】

- ◇桁下の条件により、高所作業車の使用、梯子・足場の設置が困難
- ◇道路は通行止め不可（一時的・短時間の通行止めは可能）

《参考状況》

以下の写真等は上記条件の一例を示すものである。



- ①道路幅員狭小（通行止め不可・橋梁点検車の使用不可）
- ②桁下は河川（高所作業車、梯子等は使用不可）

★テーマ②（橋梁関係）

道路橋点検における近接目視を支援する技術

【要件：求める技術】

- 橋梁の近接目視点検を支援する技術、または打音検査を支援する技術

【条件】

- ◇桁下が狭隘で点検員による近接目視が不可

《参考状況》

以下の写真等は上記条件の一例を示すものである。



- ①桁下空間狭小（桁下高：0.45～0.60m程度）
- ②路下条件は水路で流水のせき止め不可
- ③水位が高いため点検箇所近づけない

★テーマ③（橋梁関係）

歩道橋・地下道・アンダーパスにおける化粧板等内部の近接目視を支援する技術

【要件：求める技術】

- 構造物の化粧板等で覆われている箇所での近接目視点検を支援する技術、または打音検査を支援する技術（下記条件をすべて満たすもの）

【条件】

- ◇ 化粧板等が本体構造物に固定
- ◇ 化粧板等への重量物の載荷は不可
- ◇ 化粧板等取り外し不可

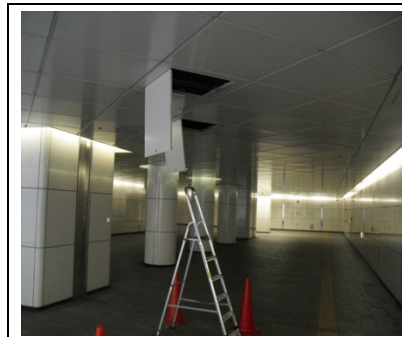
※化粧板等で覆われた箇所の点検を実施する際には、更に以下のような課題が想定されるが今回対象外とする。

- ① ゴミ、鳥害、糞害などの清掃または除去方法
- ② 漏水などにより帯水している箇所の水抜き方法（水抜孔などの目詰まりの解消）

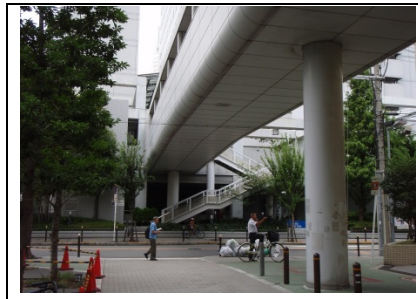
《参考状況》

以下の写真等は上記条件の一例を示すものである。

【地下道】



【橋梁】



- ① 構造物が化粧板・天井板等で覆われている
- ② 構造物と化粧板・天井板等との間への点検員・作業員の進入は不可
- ③ 構造物と化粧板・天井板等との間には取付金具、配線、配管など有

★テーマ④（下水関係）

| |
|---|
| <p>下水道管渠の点検診断の効率化技術</p> <p>【要件：求める技術】</p> <p>●圧力式下水道管渠内の点検ができる技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検項目は、下水道用ダクタイトイル鑄鉄管モルタルライニング(JSWAS G-1)の損傷の確認 <p>【条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇下水道管渠の内径はφ150mm、φ200mm、φ250mmのいずれか ◇点検延長は400m～1,200m |
|---|

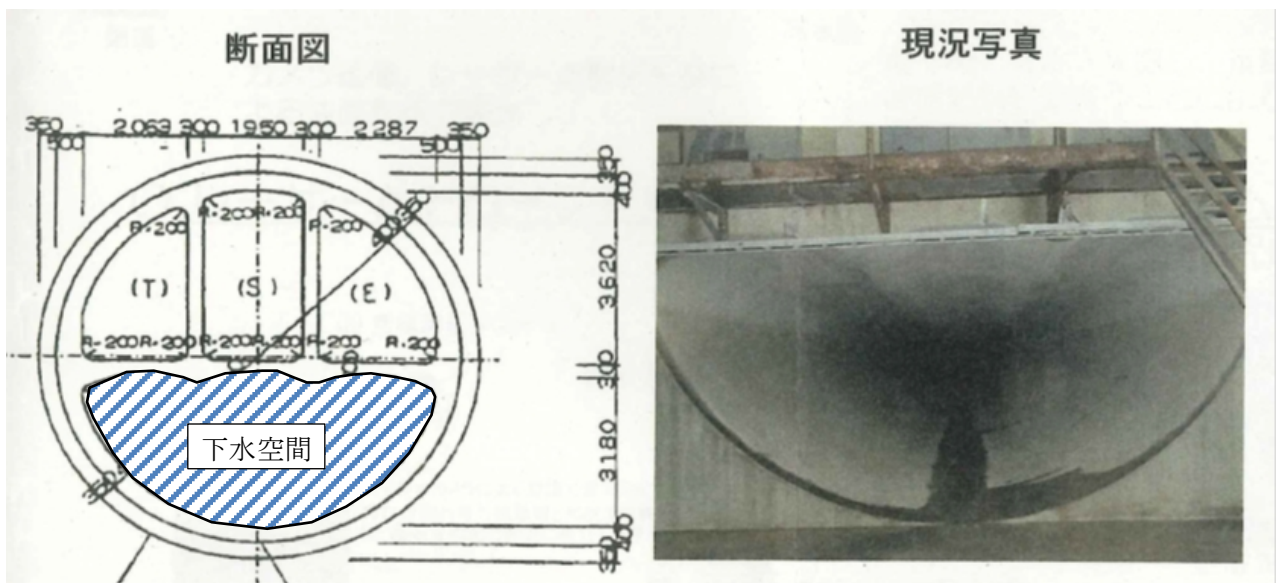
★テーマ⑤（下水関係）

| |
|---|
| <p>共同溝下水道専用洞道の近接目視を支援する技術</p> <p>【要件：求める技術など】</p> <p>●従来、点検員が立ち入り実施してきた管内もしくは洞道内を無人で点検ができる技術（点検可能距離は不問）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検項目は、内径の確認、漏水の有無、さび・腐食の状況、亀裂などのいずれか <p>【条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇機器等を配置するために作業員の一時的な出入りのみ可能 |
|---|

※点検を実施する際には下水道内には土砂等が体積しており、その除去方法も課題（今回対象外）

《参考状況》共同溝下水道専用洞道

以下の写真等は上記条件の一例を示すものである。



インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 第1回ピッチイベント プレゼン希望民間事業者申込書

年 月 日

| | | | |
|-----------------------|---|--|--|
| 参加を希望するテーマ番号 (複数可) | <input type="checkbox"/> テーマ① (橋梁関係) : 橋梁点検の効率化技術 | | |
| | <input type="checkbox"/> テーマ② (橋梁関係) : 道路橋点検における近接目視を支援する技術 | | |
| | <input type="checkbox"/> テーマ③ (橋梁関係) : 歩道橋・地下道・アンダーパスにおける化粧板等内部の近接目視を支援する技術 | | |
| | <input type="checkbox"/> テーマ④ (下水関係) : 下水道管渠の点検診断の効率化技術 | | |
| | <input type="checkbox"/> テーマ⑤ (下水関係) : 共同溝下水道専用洞道の近接目視を支援する技術 | | |
| フリガナ | | | |
| 企業・団体名 | | | |
| 所在地 | 〒 | | |
| フリガナ | | | |
| 参加者氏名 (参加代表者) | | | |
| フリガナ | フリガナ | | |
| 所属 | 役職 | | |
| メールアドレス | | | |
| 電話番号 | | | |

※申込はピッチイベント参加希望テーマごとに電子メールにて行ってください。(申込書・提出資料を添付)

申込みアドレス kansaishibu@kokuseiken.or.jp

※申込の際の電子メールの件名は『ピッチイベントプレゼン参加申込』として下さい。

※電子メールのサイズは10MB未満(添付ファイル含む)として下さい。

※申込にあたっては、本申込書とともに以下の資料の提出をお願いいたします。

(ア)情報提供を予定しているシーズ技術の概要・コスト・適用条件・アピールポイント・開発状況・その他参考内容を記した資料(任意様式A4×1枚程度)

(イ)実施事例がある場合、実施内容・実施状況(写真)等が判る資料(任意様式A4×1～2枚程度)

※ご記載いただいた個人情報については、ご本人の同意なく、当ピッチイベント以外で利用することはありません。

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 第1回ピッチイベント 傍聴参加者申込書

年 月 日

| | | | |
|--------------|---------|------|-----|
| フリガナ | | | |
| 企業・団体 名 称 | | | |
| フリガナ | | | |
| 申込者氏名 | | | |
| フリガナ | | フリガナ | |
| 所 属 | | 役 職 | |
| 所 在 地 | 〒 | | |
| メールアドレス | | | |
| 電 話 番 号 | | | |
| | 企業・団体名称 | 部 署 | 氏 名 |
| 1 参加者 | | | |
| 2 参加者 | | | |
| 3 参加者 | | | |
| 4 参加者 | | | |
| 5 参加者 | | | |

※申込は電子メールにて行ってください。(申込書を添付)

申込みアドレス kansaishibu@kokuseiken.or.jp

※申込の際の電子メールの件名は『ピッチイベント傍聴申込』として下さい。

※ご記載いただいた個人情報については、ご本人の同意なく、当ピッチイベント以外で利用することはありません。